

久里浜こころのケアチーム 第51班活動報告

派遣期間：平成24年3月6日（火）
～ 3月9日（金）

派遣先：岩手県大船渡市
（活動地域：大船渡、末崎、綾里、三陸町、
気仙郡住田町）

メンバー：瀧村 剛（医師）
樋田 香織（看護師）
桑田 美子（臨床心理士）

第5 1班の活動の特徴

- 次週のチームでの派遣終了を控え、今週から2週にわたって、ケース引き継ぎのため、保健師チームとの同行訪問を行った。このための打ち合わせとして、火曜の保健師チームとのミーティングで、各担当者とのスケジュール調整とケースに関する意見交換を入念に行った。
- 住田町の民生委員向けの研修（ア症について、医師が担当）を行った。その影響もあって、木曜午後の相談室予約が一時すべて埋まった。
- チーム派遣の終了準備作業として、持ち帰り物品の確認作業を行った。

活動経過 第1日目

3月6日(火)

- 東京から一ノ関経由で大船渡へ移動
- 15時半～ 於：合同庁舎
活動開始の挨拶、カルテの受取り、相談室の予約状況の確認
- 16～17時半 於：保険介護センター
市保健師チームとの打合せ

久里浜→保健師チームへの引き継ぎ18ケース中、今週訪問予定の10ケース（うち3ケースは既に保健師チームの関わりあり、同行とはならず）について、日程調整とケースに関する意見交換を行った。

活動経過 第2日目

3月7日(水)

〔午前〕 大船渡・末崎地区

- 継続ケースの訪問 4件
(うち保健師チームとの同行 2件)

〔午後〕 三陸町越喜来・大船渡地区

- 継続ケースの訪問 2件
(うち保健師チームとの同行 1件)
- 相談記録・報告書の作成(～18時半)

活動経過 第3日目〔午前〕

3月8日（木）午前

〔看護師・心理士〕大船渡・三陸町綾里地区

- 継続ケース訪問 2件

（うち保健師チームとの同行 2件）

〔医師〕住田町

- 民生委員向けアルコール依存症についての研修（1時間半）

参加者 70名

活動経過 第3日目〔午後〕

3月8日（木）午後

- 合同庁舎「こころの相談室」
予約の相談5件中1件が事前キャンセル、
4件に対応（うち3件が新規）

いつになく、新規予約が多く、30分枠での新規対応は難しい可能性が心配されたので、看護師と心理士で交互に待合室でインタビューを取り始め、診察に回す方法で対応。

- 相談記録の作成（～17時）

活動経過 第4日目〔最終日〕

3月9日（金）

- 記録書類のコピー・提出
- 各担当保健師へ活動結果の申し送り 4件
- ファイルや活動物品の整理と、次週の持ち帰り物品の確認

大船渡から一ノ関へ移動

夕方、一ノ関を発ち、東京にて散開

対応ケースのまとめ

対応ケース		訪 問		こころの相談室		計
		新規	継続	新規	継続	
主 訴	アルコール	0	5 (3)	2 (1)	0	7件 (4)
	不 安	0	1 (1)	0	0	1件 (1)
	P T S D	0	1 (1)	0	1 (1)	2件 (2)
	認 知 症	0	1	1	0	2件 (0)
計		0件	8件	3件	1件	12件 (7)

() 内は保健師チーム同行ケースの件数

なお、アルコールケースの同行訪問では、市の保健師と地域包括の2名の同行がほとんどだった。

今回の活動から

- 滞在先が市内になったことで、活動地域への往復の負担が大幅の軽減され、全体を通して活動しやすく感じられた。
- 派遣活動の終了にあたって、中には、チームのいるうちにケースの好転をと考えるスタッフも見受けられ、現場で活動する人たちが自信をもってケースと向き合えるよう、支えてゆくことの大切さを感じた。
- チームだけで支えてきたケースへの最後の訪問から、リレーでの関わりながら、継続的に関心を向け続けることの治療的な意味を実感することができた。
- アルコールの研修での大勢の参加を見て、啓蒙活動の重要性を再認識した。



この一年間、色々な季節に大船渡を駆け巡り、私たちにとって、大船渡はとても思い出深い地となりました。

これからも遠くから見守り続けていきたいと思っています。